

スポーツボランティア プログラム

首都大学東京少年少女サッカー大会

～川淵三郎杯～

2016/12/17・18



12月17(土)・18(日)、首都大学東京の球技場にて、八王子市内のサッカークラブによるサッカー大会が開催され、プログラム参加学生も運営ボランティアとして関わりました。また、本学のサッカー部もボランティアとして大会を支えてくれました。

大会は小学3年生の男女で構成された8つのチームが参加。熱い戦いが繰り広げられました。



～ボランティア活動内容～

活動は、「司会」「受付」「駐車場での誘導」の3つの担当に分かれて行われました。司会担当は、開会式と閉会式にて来賓や関係者の紹介、出場チームの紹介を行いました。多くの人の前で話す大変な役割でしたが、担当した学生は、子どもにも聞き取りやすい大きな声でしっかりと役割を果たしてくれました。

受付担当は、選手やその保護者の方への会場案内に加え、得点の集計を受け持ちました。試合結果の書き方や順位の決定方法などを、八王子市サッカー協会の方から指導して頂きながら丁寧に行っていました。

誘導担当は、基本的にスポーツ門の所に待機し、大会を観戦に来た方や選手の送迎に来た保護者の方が運転する車を誘導する役割を担いました。試合会場から離れた場所であるため、活動中試合を観ることは出来ませんでしたが、担当した学生は、選手や保護者の方が気持ちよく大会に臨めるよう努めていました。

そして、サッカー部から応援に駆けつけてくれた学生は、審判補助やコート整備、得点係といった、部活動で培ったことを活かした専門的な役割を担ってくれました。また、大会が終わった後に行われたサッカー教室「FC 東京サッカークリニック」においても、FC 東京のコーチと混じって小学生にサッカーを教えていました。

大会が終わった後の閉会式では、参加チームの順位が発表され、上位チームにはメダルやトロフィー、記念品が授与されました。授与は、本学の川淵三郎理事長によって行われ、学生ボランティアは選手にメダルを掛けるなどのサポートをしました。メダルを掛ける際には「おめでとう」といった声かけも行っていました。

参加した選手たちが楽しく参加できるよう、皆で支える大会でした。